

アツく体験

地域の文化 たたら製鉄

一関市の大原小(菊池正人校長、児童97人)の6年生17人は10日、同市大東町内野地区の砂鉄川たたら製鉄学習館で鉄作りを体験し、地域の歴史文化に触れました。

たたら製鉄の継承に取り組むホッパの会(勝部昌平会長)が指導。児童は8月に砂鉄川で採取した砂鉄と木炭を屋内外2カ所に設置したたたら炉に入れました。内部が1400〜1500度になる高温の炉を前に、児童は慎重に作業。約6時間後に解体し、鉄の塊を取り出しました。



炎を上げる炉に、木炭と砂鉄を入れる大原小の児童

及川美涼さんは「炎の迫力に驚いた。昔の人の大変さが分かった」と理解を深め、勝部颯太君は「自分たちが川で採った砂鉄で鉄作りを体験できてうれしい」とほほえみました。

体験学習は旧内野小から続き23回目。今後、奥州市の铸造会社で鉄を文鎮に成形し、卒業記念品にします。

NEWSアタカルト

ぎゅぎゅつと

いわて